

令和3年3月16日

第22回石川県バリアフリー社会推進賞の表彰式について

標記知事表彰の受賞者が決定したので、表彰式を次のとおり行います。

1 日時及び場所

日時 令和3年3月18日(木) 14:00～

場所 行政庁舎4階 特別会議室

2 表彰式の内容(予定)

- ・開式
- ・表彰状贈呈
- ・知事挨拶
- ・受賞者代表謝辞
- ・閉式

3 受賞者 別紙のとおり

(参考) 石川県バリアフリー社会推進賞について

県では、平成11年度からバリアフリー社会推進表彰制度を設け、先駆的、模範的なバリアフリー社会づくりへの取組や活動を行っている個人や団体を、「施設部門」「活動部門」「福祉用具部門」のそれぞれの部門において表彰。

(1) 表彰区分

○「施設部門」

お年寄りや障害のある方などが利用しやすいように配慮された、不特定多数の人が利用する施設で、「石川県バリアフリー社会の推進に関する条例」の整備基準に適合するもの

○「活動部門」

お年寄りや障害のある方の自立と社会参加を支援するための地域におけるバリアフリー社会づくりに寄与する一連の活動

○「福祉用具部門」

お年寄りや障害のある方の自立支援や介助者の負担軽減を図るための創造的な作品

(2) 今年度の応募数

40件(施設部門5件、活動部門3件、福祉用具部門32件)

第22回石川県バリアフリー社会推進賞 受賞者一覧

<施設部門>

	受賞施設	受賞者(上段:設置者、下段:設計者)
最優秀賞 (1点)	輪島KABULET® 拠点施設	社会福祉法人佛子園 株式会社五井建築研究所
優秀賞 (1点)	くらし・しごと応援センターはるかぜ	社会福祉法人長久福祉会 未来建築設計
奨励賞 (1点)	袖ヶ江みなとこども園	社会福祉法人七尾みなと福祉会 株式会社浦建築研究所

<活動部門>

	受賞者
最優秀賞 (1点)	グループ銀河
優秀賞 (1点)	公益社団法人石川県鍼灸マッサージ師会
奨励賞 (1点)	志賀町シルバーリハビリ体操指導士会

<福祉用具部門>

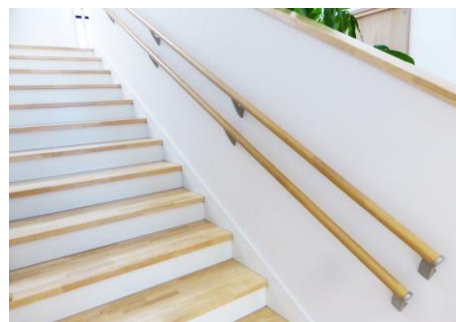
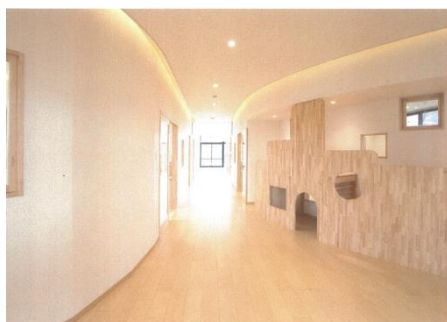
	(区分)	受賞福祉用具	受賞者
最優秀賞 (2点)	(一般)	onehand eliminator	梶澤 祥子
	(企業)	大きな一歩を踏み出す勇気を与える トレーニング機器	金沢工業大学クラスター研究室
優秀賞 (3点)	(一般)	戸まる棒	中川 夕夏
	(一般)	腕上げ吊るべえー	福村 和義
	(企業)	車いす用携帯スロープ「新パラレル 120C(仮称)」	津田駒工業株式会社
奨励賞 (4点)	(一般)	楽に干してみん?	角 風華
	(一般)	ワイヤー入りよだれかけ	布施 光里
	(一般)	やさしい寝&みんなで見守り台	松本 友美
	(企業)	おもてなし漆器	中島忠平漆器店

<奨励賞>

○袖ヶ江みなとこども園（幼保連携型認定こども園）

〔 設置者：社会福祉法人七尾みなと福祉会 設計者：株式会社浦建築研究所 〕

歩車分離がなされており、駐車場付近から出入口まで奥行きのある軒下空間を設けることで雨や雪に配慮している。青柏祭のシンボル「でか山」を原寸大で外観デザインや施設内部の遊び場に取り入れており、園児だけでなく地域住民にも親しみのある建物となっている。



活動部門

<最優秀賞>

○グループ銀河

活動開始：平成12年4月

活動地域：金沢市

- ・障害者の健康維持、心身の障害の機能回復、問題行動の改善などを目的に、知的障害のある方などを対象とした音楽療法教室を月2回開催しており、定期的に大学病院や施設等で交流コンサートも開催している。
- ・教室ではクラフト体験や外部講師による演奏会、紙芝居や茶道なども行っており、生徒が様々な経験ができるよう工夫されている。



<優秀賞>

○公益社団法人石川県鍼灸マッサージ師会

活動開始：平成26年4月

活動地域：県内全域

- ・様々なイベントや行事で鍼灸マッサージの施術ブースや体験教室を設け、来場者に無料で施術を行ったり、マッサージの方法を紹介したりしている。
- ・鍼灸マッサージを通じて高齢者や障害者の自立支援や症状軽減や、家族などの介助者へのサポートに貢献している。



<奨励賞>

○志賀町シルバーリハビリ体操指導士会

活動開始：平成31年4月

活動地域：志賀町

- ・敬老会や公民館行事等へ出向き、住民に介護予防を狙いとした「シルバーリハビリ体操」の周知・指導を行っている。
- ・シルバーリハビリ体操は特別な道具を使わずに、いつでも、どこでも、誰でも気軽にできる体操で、住民が主体となって介護予防に取り組む「自助・互助」を目的に活動している。



福祉用具部門（一般部門）

<最優秀賞>

○onehand eliminator（梶澤 祥子）

- ・片麻痺で人工肛門を造設された方が、衣服や床を汚さずに片手で便を処理するために作製した。
- ・ベルトで大腿部に固定した容器に袋をセットし、パイプ等を使用しながらストーマ袋に溜まった排泄物の処理を行う。



<優秀賞>

○戸まる棒（中川 夕夏）

- ・ドアとドア枠の隙間（蝶番の部分）に挟み込んで使用するドアストッパーで、車いす使用者や下方へのリーチが困難な方が、かがまずに使用できる。
- ・表面の一部に磁石板を貼ることで、使用しないときはドアにくっつけて収納することができる。



（使用時）



（収納時）

○腕上げ吊るべえー（福村 和義）

- ・腕が肩の高さまで上がらず、食事がしづらくなったことから作製された。
- ・紐を首にかけて両端の輪に手首を通し、片方の手を引っ張ると滑車のようにもう片方の手をあげることができる。
- ・S字フックを使用すれば、ズボンを上げる際にも利用できる。



<奨励賞>

○楽に干してみん？（角 風華）

- ・片麻痺の方や両上肢が挙上しにくい方が洗濯物を干す際の負担を軽減するために作製されたもの
- ・S字フックを利用することで洗濯バサミの取り外しが容易になり、手元で洗濯物を挟んでから干すことができる。



○ワイヤー入りよだれかけ（布施 光里）

- ・床やおもちゃによだれが付くことを防ぐために、よだれを受ける部分を角度調整できるように工夫したもの
- ・よだれかけの縁にワイヤーを取り付け、縁を立ち上げて角度をつけられるようにすることで、よだれをキャッチしやすくなっている。



○やさしい寝&みんなで見守り台（松本 友美）

- ・日常生活上の介助や医療的ケアを行う家族に負担がかからないよう、高さや大きさ等を工夫したベッド
- ・ベッド下に医療用品等が収納できるようスペースが設けられているほか、家族がバイタルサインを確認しやすいようにモニター用の回転台が設置されている。

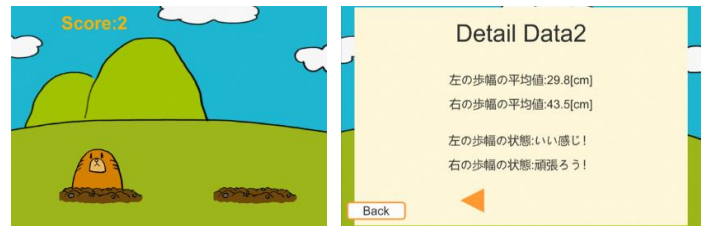
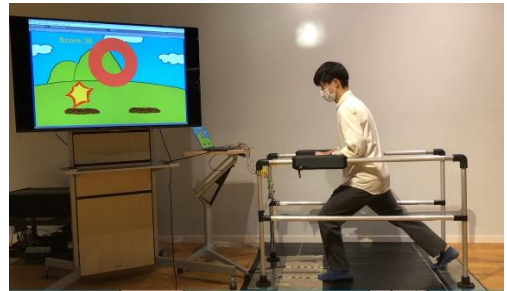


福祉用具部門（企業部門）

<最優秀賞>

○大きな一歩を踏み出す勇気を与えるトレーニング機器
（金沢工業大学クラスター研究室）

- ・高齢者や、歩行能力が低下した方の歩行能力改善を目的として作製されたトレーニング機器
- ・ゲーム画面に表示されるモグラに合わせて足を前に大きく踏み出し、センサを踏むと得点が入る仕組みで、自宅で楽しみながらトレーニングができるようになっている。



<優秀賞>

○車いす用携帯スロープ「新パラレル120C（仮称）」
（津田駒工業株式会社）

- ・使用者の意見をもとに既存の車いす用携帯スロープを改良したもの
- ・旧タイプより地面とスロープとの接地面の段差が小さくなっているため、車いすでの昇降がしやすくなっており、また重量が4.2 kgから3.5 kgまで軽量化され、持ち運びやすくなっている。



<奨励賞>

○おもてなし漆器（中島忠平漆器店）

- ・指先の力が弱い方でも持ちやすいように碗の縁に出っ張りをつけており、熱伝導性が低い輪島塗の碗のため、熱さを気にせずに持つことができる。
- ・様々な手の大きさに対応できるようサイズ展開されており、入れ子にして収納することもできる。

